

流通木材の合法性確認システム(クリーンウッドシステム)

-個人情報保護に係るプライバシーポリシー

1. 基本的考え方

林野庁木材利用課（以下「木材利用課」といいます。）で運用・保守を行っている「流通木材の合法性確認システム(クリーンウッドシステム)（以下「当システム」という。）」においては下記の機能を提供します。

- 1)合法性の確認に係る情報や書類をシステムに登録し、記録を作成、必要な情報を納品先へ伝達する。
- 2)合法性確認のために収集・登録した情報に加え、取引情報（製品の納品情報）や関連書類等もシステムに登録できることとする。
- 3)システムに登録したデータをもとに自動集計機能で国や登録実施機関への定期・年度報告の事務簡略化を図れるようにする。

当システムの円滑な運用にあたり、必要な範囲で、当システムを利用される皆様の情報を収集しています。収集した情報は利用目的の範囲内で適切に取り扱います。

2. 収集する情報の範囲

1. 当システムでは、利用者の氏名に加え、所属する事業者名、部署・グループ名、システムログインに必要なメールアドレス等の情報をシステム利用申請時およびシステム利用時に取得・使用します。
2. クッキーについて
当システムでは、クッキーを使用しています。
クッキーは、利用者がシステムにアクセスした際に、システムのサーバと利用者のブラウザとの間でやり取りされ、利用者のコンピュータに保存されます。
利用者はブラウザ設定から、クッキーの無効化を選択することで、アクセスログの収集を拒否することができます。
なお、クッキーを無効化しても、当システムの機能には影響はありません。
3. 当システムの利用にあたり、各種ご意見・問い合わせの受付を行う場合には、必要に応じてお名前、事業者名、部署・グループ名、電話番号、メールアドレス等をお尋ねする場合があります。

3. 利用目的

1. 2.の 1.及び 2.において収集した情報は、当システムを円滑に運営するために利用させていただきます。
2. 2.の 3.で収集したご意見・お問い合わせは、任意で記入いただいた事項も含めて今後のシステム関連の施策立案の参考とさせていただきます。また、お問い合わせの回答や確認のご連絡のため、事業者名、部署・グループ名、メールアドレス、お名前を利用します。なお、これらの情報はご意見等の内容に応じ、木材利用課から関係部署、関係府省等に転送することがあります。

4. 利用及び提供の制限

木材利用課では、法令に基づく開示要請があった場合、不正アクセス、脅迫等の違法行為があった場合その他特別の理由のある場合を除き、収集した情報を 3 の利用目的以外の目的のために自ら利用し、又は第三者に提供いたしません。ただし、統計的に処理された当システムのアクセス情報、処理結果については公表することがあります。

5. 安全確保の措置

木材利用課は、収集した情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。

6. 適用範囲

本プライバシーポリシーは、当システムにおいてのみ適用されます。

7. その他

木材利用課では、以上の流通木材の合法性確認システム(クリーンウッドシステム)・プライバシーポリシーを必要に応じて改定することがあります。